

## 広島県支部

# コロナ禍のなか 広島カープを応援し続ける校友

広島県支部 支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)

未だ収まらないコロナ禍のなか、広島で頑張っている校友がいます。

広島と言えばカープですが、そのカープの私設応援団で活躍している平成10年卒の福永 幸満さん46歳です。

彼を知ったのは、カープが25年ぶりの優勝をした平成28年の地元紙の新聞記事でありました。紙面に応援団の法被を着てトランペットを吹く姿が大きく紹介されていました。記事は大阪出身で広島市安佐南区の市職員 福永幸満さん(40)は、という紹介で始まっていました。そして記事を読み進むと、彼は広島生まれではなく、大阪府松原市生まれで、母親が広島出身であり、幼い頃からカープファンであったとのこと、さらに記事を読み続けると、その経歴の中になんと大阪商業大学卒業と

ということが書かれていました。さらに驚いたのは、彼は大学卒業後、東京の会社に就職したが広島に住んでカープを応援したいという気持ちが強まり、転職し広島に移住したとのこと。

私も何度も球場に行き、応援団が陣取る席でトランペットを吹く姿は目にしていましたが、まさか彼が大商大の校友であるとは夢にも思いませんでした。そして、偶然にもこの記事を書いた記者が私の知っている記者であったこともあり、早速記者を通じて彼と連絡を取ることができました。

カープは、この年に入団した大商大硬式野球部OB「岡田明文」投手の活躍により、25年ぶりに優勝しました。以降カープは3連覇、私はカープの3連覇は、岡田投手の活躍と福永さんのトランペット応援のおかげだと信じています。

福永さんは、現在、校友会広島県支部の役員として支部活動に尽力いただいています。当然のことながら、現在も応援団として毎試合球場に駆けつけていますが、コロナの影響でトランペットを吹くことができず、早く思いっきりトランペットを吹いて応援したいと語っておられました。

岡田投手も肘の手術を行い現在リハビリ中ですが、コロナが収束し岡田投手が復活して剛球を投げる姿、福永さんがトランペットを高らかに演奏する姿を早く見たいものです。



【支部連絡先】

〒739-2101 広島県東広島市高屋町造賀5799-1 渡辺高守様方 TEL.082-436-0295